

接着系アンカー（無機系・打込み型・チューブ式）

認証取得者	株式会社ケー・エフ・シー	
所在地	〒530-0047 大阪市北区西天満3-2-17	
連絡先	Tel:06-6363-4126 Fax:06-6363-3128	
商品名	エスアールタイト	
接着剤の材質	プレミックスセメントモルタル	
認証種類	タイプ B	
認証番号	第19-0021号	
認証有効期間	2020年2月8日～2025年2月7日	

認証内容

構成部品	項目 1	カプセル容器	材質	紙	
			形状	別添資料による。	
			寸法・許容差	別添資料による。	
	項目 2	接着剤関連	材質	プレミックス特殊セメントモルタル	
			強度	$T_{fu} \geq 10\sqrt{\sigma_B/21}$ (N/mm ²) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] T_{fu} : 付着強度計算値 (N/mm ²)、 σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)	
	項目 3	物性	圧縮強度	29.4 N/mm ² 以上	
曲げ強度			4.9 N/mm ² 以上		
項目 4	アンカー	種類	異形棒鋼 (JIS G3112) 種類と呼び名 (径) は別添資料による。		
		先端形状	寸切り		
		外観	アンカー筋表面に接着剤の硬化、固着を阻害するものがないこと。		
項目 5	筋関連	材質	異形棒鋼: JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼		
		表面処理	無し		
項目 6	ねじ等級	強度	降伏点・引張り強度・伸び率	別添資料による。	
		ねじ等級	-		
製品	項目 7	ドリル径と許容差	別添資料による。		
	項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。		
	項目 9	母材の種類	普通コンクリート		
	項目 10	設計基準強度の範囲	18 N/mm ² 以上、36 N/mm ² 以下		
	項目 11	環境条件 (固着後)	外気温 -5°C 以上、80°C 以下とする。		
	項目 12	引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式(1) から式(3) に対して 95%以上の信頼性を有している。 $T_{cc} = 0.23\sqrt{\sigma_B} \cdot A_c \cdots$ 式(1)、 $T_{cb} = T_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot \ell \cdots$ 式(2)、 $T_{nu} = \sigma_u \cdot a_c \cdots$ 式(3) [記号] T_{cc} : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) A_c : コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm ²) (= $\pi \cdot \ell_a (\ell_a + d_a)$) T_{cb} : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) T_a : 付着強度 (N/mm ²) で、次式による。 (= $10\sqrt{\sigma_B/21}$) ℓ_a : アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) (= $L - d_a$) L : アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 d_a : アンカー筋の外径 (mm) T_{nu} : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm ²) (= $1.1\sigma_y$) σ_y : アンカー筋の規格降伏点 (N/mm ²) a_c : アンカー筋の最小断面積 (mm ²)		
	項目 13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を 95%以上の信頼性を持って満足している。 $\min\{2/3 \cdot T_{my}, 0.4 T_{cc}, 0.4 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 δ が、0.3 mm 以下 $\min\{T_{my}, 0.6 T_{cc}, 0.6 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 δ が、1.0 mm 以下 [記号] T_{my} : アンカー筋の降伏引張耐力 (= $\sigma_y \cdot a_c$)		
	項目 14	せん断耐力算定式	次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4 \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \cdot s_a \cdot a_0$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm ²) $Q_{mu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s_a \cdot a_0$ [記号] Q_{mc} : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) E_c : 母材コンクリートのヤング係数 (N/mm ²) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) s_a : アンカー筋の最小断面積 (mm ²) Q_{mu} : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の規格引張り強度 (N/mm ²)		
	項目 15	せん断剛性	$0.6 Q_{mc}$ 時又は $0.6 Q_{mu}$ 時における水平変位量が δ 5mm 以下又は $0.3d$ (d : アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95%以上の信頼性を持って満足している。		

[注] 項目1~15は、評価認証審査項目を示す。

接着系アンカー（無機系・打込み型・チューブ式）

別添資料

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品番	カプセル径 (mm)	カプセル長 (mm)	内容量		アンカー筋	ドリル径(mm)		穿孔深さ(mm)	
			(g)	許容差		径	許容差	穿孔深さ	許容差
SR-13	13	110	26	+2.6 -0.0	D13	16	+0.2 -0.0	130	+6.5 -0.0
SR-16	16	120	38	+3.8 -0.0	D16	20	+0.2 -0.0	160	+8.0 -0.0
SR-19	19	150	70	+7.0 -0.0	D19	24	+0.2 -0.0	190	+9.5 -0.0
SR-22	22	170	110	+11.0 -0.0	D22	28	+0.2 -0.0	220	+11.0 -0.0
SR-25	25	240	200	+200 -0.0	D25	32	+0.2 -0.0	250	+12.5 -0.0

【アンカー筋の強度、ねじの等級】

1. ねじの材質の引張強さ、規格降伏点、伸び率

2. 異形棒鋼の材質の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ (N/mm ²)	降伏点又は0.2%耐力 (N/mm ²)	伸び率 (%)	
				棒鋼の径 (mm)	
				D25 未満	D25 以上
SD345	JIS G 3112	490 以上	345~440	18 以上	20 以上